

令和5年度第2回 北見方面美幌警察署協議会 議事概要

1 開催日時

令和5年9月26日（火）午後1時25分から午後2時30分まで

2 開催場所

北見方面美幌警察署 会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 7人（定員7人）

会 長 長岡 敬幸

委 員 高橋 敏浩、大野 広子、山口 知津

前田 政文、松岡 愛子、宮川 義昭

※前田委員については業務のため午後2時に退出

(2) 警察署員 6人

署 長 藪田 欣一

副 署 長 山越 浩幸

刑事・生活安全課長 萱森 淳二 地域・交通課長 卯野 勇介

警務係長（庶務担当） 警備係長（庶務担当）

4 会長挨拶

暑い日が続いていましたが、最近はめっきり涼しくなって過ごしやすくなっているところ、各委員のみなさまにあっては体調に十分気を付けて過ごしていただきたいと思っていますところでもあります。

本日の議事についていくつかありますので、みなさまでしっかり意見等を出していただいたうえでよく話し合いをしていただき、いい協議会になることを期待して挨拶とさせていただきます。

5 署長挨拶

美幌警察署に赴任して半年が経過しました。

私はこれまでに色々な警察署で勤務してきましたが、その中で比較しても美幌町、津別町の住民は特に規範意識が高いと感じています。

交通安全や犯罪に対する防犯意識が高くて素晴らしいと思っているところ、その意識の高さが各種啓発活動の参加率に反映されていると感じており、他の市町村の見本とな

るもので、その活動の一つ一つが犯罪率の低さに結びついていると実感しています。

犯罪認知件数は昨年に比べると今年は若干増加傾向にありますが、これはコロナが収まって人の活動が活発になってきたからであり、他の地域に比べると低い水準であることに間違いはなく、特に凶悪事件については全く発生がありません。

交通事故は昨年とほぼ同件数で推移しており、北海道内では増加傾向であるところ、とても素晴らしいことだと感じています。

今後も、ますます犯罪発生率や交通事故発生率を減少させるために協議会みなさまの意見要望をこの機会に取り入れ、それを反映させることでみなさまの期待に応えられるように精進していきますので、忌憚のない意見をどうぞよろしくお願いします。

6 業務概況説明

- (1) 犯罪情勢、検挙事例、各種啓発（萱森刑事・生活安全課長）
- (2) 交通事故の発生状況、交通安全取組状況、地域警察活動内容（夕野地域・交通課長）

7 懲戒処分等の報告について（山越副署長）

8 諮問事項「犯罪防止対策について」

【委員】～ 美幌町内の青山南地区の道沿いに木や草が生い茂っている箇所について、前回の協議会で防犯上どうにかできないかと問題に挙がっていたところ、この度、自治会で敷地所有者に連絡を取り、承諾をとったうえで草を刈ることができ、一部解消できましたので報告します。

こういう協議会の機会に問題として取り上げることで、警察と町民が協力し、どんどん町が良くなると実感できる事例でした。

9 質疑応答

【委員】～ 鹿の飛び出しによる事故が多発していると感じているところ、私自身、夜に北見に行く途中に何十頭もの鹿が集まっている箇所を見る。

そういう場所にもっと動物飛び出し注意の標識があれば、注意することができると思うが、新たに取り付けるなどは出来ないものか。

【警察】～ 関係機関と調整して、可能かどうか検討する。

【委員】～ 熊が出没した際、猟友会等との調整はついているものなのか。

【警察】～ システム上の体制は構築できていないが、その都度連絡して対応することになっている。

【委員】～ 郵便局の配達バイクが家の間や敷地から勢いよく飛び出してくることがあり、特に高齢者等の歩行者が危険だと感じることもある。

- 【警察】～ 事故が発生する前に、住民からの声として郵便局長等に情報共有を図りたいと思う。
- 【委員】～ 津別交番の前あたりに手押し信号が近い区間に2箇所設置されており、さらに交差点の信号も直近に設置されている。
交通量が少ない時に、急に信号が変わることで危険だと感じることもあるので、現在の交通量を鑑みて撤去することは出来ないだろうか。
- 【委員】～ 昔、信号機の近くに幼稚園があったことから、安全のために設置されたのだと思う。
現在もこども園があり、一定の町民は信号機を必要としている。
- 【警察】～ 交通量等を実際に確認して調査する必要があることから、今後、必要性等を調査して確認したい。
- 【委員】～ 交通事故が増えている原因はなにかあるのか。
- 【警察】～ 新型コロナウイルスによる行動制限が撤廃となり、人の活動が活発になったことが一因にあると思う。
外国人旅行者による事故も急増していると認識している。

10 意見要望

- 【委員】～ 交通指導員や交通安全協会の役員を務めており年1回総会がある。
新型コロナウイルスの影響が落ち着いてきたところ、今年から総会後の懇親会を再開しており、交番に勤務する警察官を知ったうえで警察の活動に協力したいと思う役員も多く見られることから、可能であればぜひ警察官も懇親会に参加して欲しいと思っている。
- 【警察】～ 世間では新型コロナウイルスが落ち着き、人の活動が活発になってきているが警察は治安機関として感染防止対策に注力している。
住民との親和も大事だと感じているところ、そういった情勢があるということを御理解頂きたい。
- 【委員】～ ちょっと前の話だが、自閉症の疾患がある人が不審者として警察に捕まったという話があったが、先日、「障がい者の会」という研修を受ける機会があり、その際にその当事者と母親から事件の経緯を聞く機会があった。
その当事者は、事件のことがトラウマになって日常生活が送れなくなってしまったと話していた。
さらに、被害者等に対して謝罪を申し込んだが全て断られてしまい、その経緯を説明する機会を与えられることすら叶わなかったようだ。
警察対応に問題があったという訳ではなく、警察は親身に対応して

くれたという話だったが、一般の方からはどうしても偏見の目で見られてしまうとのことで、当事者らは出来るだけ多くの人に事実を知って欲しいということをやっていた。

私は障がいを持つ方やその家族らと共存できる街作りをしていきたいと思っているところ、この場を借りて皆さんにも当事者らの話として共有していただきたいと思って話をさせていただきました。

【警察】～ 保護者や学校等については特に子どもを守らなければいけないという強い思いから、過敏に反応してしまうことがあると認識している。

ただ、障がい等がある人は絶対に悪いことをしない、と警察として断言することも難しいのが事実としてある。

警察としては、治安を守るという立場を維持しつつ、今後も適切な対応を心がけ、多くの方が共存できる街作りに貢献できればと思っていることから、引き続き警察活動へのご協力をお願いしたい。

【委員】～ 最近、中国人と思われる女性が自転車で歩道を走っている状況を見かけ危ないと感じることがある。

【委員】～ 町内に住んでいる中国人から聞いた話では、技能実習生として町内に来ている中国人の中には、交通ルールを理解出来ていない者もいるということであった。

警察から受け入れ企業などに対して交通ルール等に関する講習を実施することは出来ないものか。

【警察】～ 中国人ということもあり言葉の壁があると思うが、企業の管理者等に対して講習の実施等に向けた検討を図っていきたいと思う。

11 次回の開催予定

令和5年12月中の開催を予定。